

4年生用

ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 4<sup>th</sup> year students

教員名(Name) : 加藤由崇 (KATO Yoshitaka)

**\*ゼミタイトル Seminar Title**

言語と教育 (特に英語教育) 【応用編】

**\*授業概要 Outline of the contents**

言語教育に関する専門書の読解をとおして、日本語・英語双方での読解力を養うと同時に、言語教育およびその研究に関する知識と、実践的な応用に関する理解を深めます。また、「本当に～か」「なぜ～か」といった言語教育に関するみなさん自身の「問い合わせ」(puzzle(s)) を出発点として授業を展開します。たとえば、以下のような問い合わせを設定し、プレゼンテーションなどを通して探究の成果をクラスで共有しながら、協働的に理解を深めていきます。

(例)

- ・なぜ日本で英語を学ぶ／教える必要があるのか。【目的論】
- ・なぜ英語の教科書には「本文」がある読解中心の教材が多いのか。【教材論】
- ・本当にコミュニケーション中心の授業では文法は身につかないのか。【指導論】
- ・英単語を学ぶ最善の方法とは。【学習論】
- ・本当に英語は早くから学び始めるのがよいのか。【第二言語習得論】
- ・そもそも英語のテストや評価は必要か。【評価論】

2026年度は以下の文献や論文を扱う予定です。

- 中田達也・鈴木祐一 (編) (2022) [『英語学習の科学』](#) 研究社.
- *ELT Journal, TESOL Quarterly, Language Teaching Research* などに収録された英語論文

**\*授業の形式 How the class is conducted**

最初の数回は担当教員が説明を行います。その後は、課題文献の読解内容についての発表や、各自の問い合わせに関する探究成果の共有・議論を行う形で進めます。

**\*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

発表内容とレポート、授業内での議論をもとに判断します。

**\*その他 Others**

言語教育に关心があり、「好奇心」に基づいた自主的な学びができる人を歓迎します。